



ひがしとみずようちえんだより

～令和6年度 最終号～

令和7年3月17日

小田原市立東富水幼稚園

文責 宮川 晃



すみれさん、ご卒園おめでとうございます！

ひよこさん、ご進級おめでとうございます！

春の暖かい陽射しを待ちわびていたかのように、園庭の桜のつぼみが少しずつ膨らみ始め、幹が桃色に色づいているように見えます。明日は、いよいよ卒園式ですね。

すみれさんと過ごしたたくさんの日々が、楽しい思い出となって思い出されます。心優しく健やかに育ったすみれさん。みんなでしっかりと手をつなぎ、新しい未来に向かって輝いてほしいと思います。これからも元気いっぱい笑顔いっぱいの毎日が続きますように！

そして、ひよこさん、ご進級おめでとうございます。今年度の登園があと少し残っていますが、これからも明るく元気いっぱいに過ごしてほしいと思います。

令和6年度の教育目標

『認め合い育ち合う子どもの育成』

- ★自ら関わることを楽しむ子
- ★粘り強く頑張れる子
- ★自分も友達も大切にできる子

研究主題 『幼児の主体性を育むための教師の資質向上』

サブテーマ ～ 幼児が主役の保育について考える ～



重点課題と指導の方針①

『子どもの発達や特性に応じた教育活動』

- 人・もの・ことなど、身の回りの環境に積極的に関わり経験を重ねる活動内容の実践
- 興味関心をもち、試行錯誤しながら学びに向かう芽を培う環境の工夫
- 遊びを通じた、体力・運動能力の向上
- 様々な環境に触れ、五感を通して心の豊かさを育む環境の工夫
- 地球環境や自然環境を活かし、取り入れた遊びの展開
- 栽培、飼育活動を通じた命の学び
- 基本的な生活習慣、衛生習慣の確立
- 安全教育の推進（防災・防犯・交通安全・感染予防等）



1月には、ダイコンを収穫しました。子どもたちから「食べたい」との声があがり、昨秋に収穫したお米「はるみ」とダイコンを使って、「おにぎりと味噌汁」をいただくことにしました。おにぎりには何の具も入れませんが、子どもたちはパクパクむしゃむしゃ、とても美味しかったようです。味噌汁にはダイコンの葉も刻んで入れましたが、こちらも美味しかったようで、何杯もおかわりしている子がいました。自分たちで育てたものを食べるって、とっても美味しいんですね。



2月3日(月)に節分の豆まきをしました。子どもたちに「どんな豆まきにしたいか」の思いを聞き、「鬼チーム」と「豆まきチーム」の2チームに分かれて対戦する形式で実施することになりました。鬼や豆をまく人のお面や衣装は、もちろん自分たちの手作りです。ひよこさんとすみれさんの合同チームで作戦を考え、掛け声をかけ合いながら豆まきを楽しみました。対戦が終わった後には、「鬼のパンツ」と「赤鬼と青鬼のタンゴ」をみんなで踊りました。子どもたちは、自分たちのやりたい豆まきができて、とても満足そうでした。



3学期も安全教育の推進を図りました。1月には、防災教室として、子どもたちだけでなく保護者も加わって、煙体験や水消火器を使用した消火訓練を行いました。また、小田原警察署から2名のスクールサポーターをお招きし、防犯訓練を実施しました。2月には、年長さんを対象とした交通教室を実施しました。また、地震から火災が起こることを想定した避難訓練を実施しました。

今年度も安全教育を推進するため、子どもたちの安全をより確かなものにするため、様々な形で防災・防犯・交通安全等の訓練を実施することができました。ありがとうございました。

重点課題と指導の方針②

『保護者・地域との連携』

- 幼児の成長をもとに喜び協力し合える信頼関係の構築
- 幼児理解・幼稚園理解と家庭教育の推進
 - ・情報発信、教育相談の充実
 - ・家庭とつながる活動の展開
 - ・楽しみながら参加できるPTA活動の工夫
- 幼児の学びをつなげる小学校との連携
- 保護者支援・子育て支援の充実
- 地域環境・専門機関との連携や活用
- スクールボランティアの活用





2月には、すみれさんとひよこさんそれぞれの日程で「保育参加」を行いました。すみれさんは、卒園記念製作として「ペン立て」を、子どもと保護者が一緒に話し合いながら、工夫して作りました。とてもかわいらしい立派な作品に仕上がりました。ひよこさんは、園庭で思いっきり体を動かし、準備運動として「モリモリマッチョ」を踊ったり、しっぽ取りゲームを子ども対大人でやったりしました。

「保育参加」は、子どもたちにとって、保護者と一緒に遊んだり製作したりすることができる、とても楽しい時間となっています。ご協力ありがとうございました。



今学期も保護者や地域の方々からたくさんのご協力をいただき、子どもたちや園の運営を支えてくださいました。1月には「エクレア劇場」、2月には読み聞かせボランティアによる「読み聞かせ」や「人形劇」が行われました。子どもたちはお話の面白さに引き込まれ、とても楽しそうに見入っていました。また、2月末には、今年度2回目の「幼稚園関係者委員会」を開きました。子どもたちの園生活の様子をご覧いただいた後、保護者アンケートの結果をもとに年間を振り返ったり、来年度の園運営についてご意見をいただいたりしました。

重点課題と指導の方針③

『教職員の資質・能力の向上』

- 一人一人の発達や特性を捉えたきめ細やかな援助
 - ・教育課程、指導計画、アプローチカリキュラム、支援計画等、実態に応じた見直しと立案
- 幼児の思いに寄り添うインクルーシブ教育の推進
- ICTの活用や事務分掌の精査による効率的な仕事の推進
- チーム保育の実践
- 園内研究並びに自己課題に対する研究の推進、自己研鑽による保育スキルの向上

今年度の園内研究は、テーマを「幼児の主体性を育むための教師の資質向上」、サブテーマを「幼児が主役の保育を考える」とし、小田原短期大学の野津直樹教授や小田原市教育委員会指導主事をお招きして園内研究に取り組み、一人一人が輝く支援のあり方について研究を深めてきました。

来年度は、小田原市公開保育研究会実施園として、他の幼稚園や保育園の先生方にも参加を呼びかけながらの研究会を実施することになりました。大学の教授や教育委員会の指導主事にも引き続きお越しいただき、指導を仰ぎ、教職員の資質・能力の向上につなげていきます。

すみれさんが、ひよこさんや小学5年生との交流を楽しみました！



3月、東富水小学校の5年生をお招きし、すみれさんがドッジボールの試合を楽しみました。突然の申し出にもかかわらず、快く受けてくださいました。あいにくの雨だったので、遊戯室内で行いましたが、5年生のお兄さんお姉さんたちは、やさしくボールを投げたり、ボールを譲ってくれたりしたので、ボールを当てられてもすみれさんたちはとても満足そうでした。4月からは6年生となるお兄さんお姉さんたちが、新1年生を優しく迎え入れてくれることでしょう。

また、すみれさんは、ひよこさんとの交流も楽しみました。ひよこさんから「しっぽ取りゲーム」を一緒にやりたいとの申し出があり、ひよこさん対すみれさんで真剣勝負をしました。2回戦ともすみれさんの貫録勝ちでしたが、ひよこさん、すみれさん共にとても嬉しかったようです。その後、なかよくお弁当を食べました。楽しい思い出をまた一つ積み重ねることができました。



すみれさんが「卒園記念製作」として、階段のアートシール作りを行いました。（左上の写真）作品のテーマは、子どもたちと話し合い、「海の中を描く」としました。作品には、クラゲやサメ、ヤドカリ、ウツボ、人魚姫、タコ、カワウソ、ジンベイザメ等、可愛らしくカラフルな生き物たちが描かれています。園にお越しの際は、ぜひご覧いただきたいです。

また、すみれさんから「卒園記念品」として、「木製積み木と積み木収納ケース」を贈っていただきました。（左下写真）すみれさんにも使ってもらいましたが、子どもたちが夢中で製作活動に取り組める教材です。みんなでなかよく使いたいと思います。皆様、ありがとうございました。

1年間のご愛読 ありがとうございます。



昨年4月、「しばちゃん」と共に始業式や入園式に新園長として温かく迎え入れてくださってから、もう1年が過ぎようとしています。

すみれ組のみなさん、改めてご卒園おめでとうございます。小学校へ入学しても、明るく元気に、友だちとなかよく過ごしてほしいと思います。もちろん、勉強も頑張ってくださいね。「継続は力なり」です。何かを続けることの大切さも覚えてほしいと思います。ずっと応援しています。

ひよこさんは、今度はすみれさんになって、新しく入園してくるひよこさんのこと、よろしくお祈りします。ようちえんのこと、やさしく教えてあげてくださいね。

保護者の皆様、この1年間、幼稚園教育にご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。送り迎えやお弁当作りは、毎日大変だったと思います。また、係活動やボランティア活動など、園運営においても大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。（園長 宮川 晃）